

『建築職 パーフェクト演習講座 環境工学・建築設備』(KU12792) 訂正表

2016年03月16日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容		掲載日
		誤	正	
P. 33	[No. 8] 解説 肢ア	厚さ2～3 (cm) 程度までは暑さに比例して増加するが	厚さ2～3 (cm) 程度までは厚さに比例して増加するが	2016/3/16
P. 35	[No. 15] 解説 肢2	昼光採光の場合でも1/10以上とする。	昼光採光で片側採光の場合でも1/10以上とする。	2016/3/16
P. 35	[No. 15] 解説 肢5	対称の見やすさが損なわれる現象のこと。	対象の見やすさが損なわれる現象のこと。	2016/3/16
P. 40	[No. 34] タイトル	[No. 34] 〈建築環境／暖房設備〉	[No. 34] 〈建築設備／暖房設備〉	2016/3/16
P. 47	[No. 57] 解説 肢イ	散水ノズルから水幕を作るように山水して消火する設備である。外部からの延焼防止のために、外壁や屋根等に設置する。	散水ノズルから水幕を作るように散水して消火する設備である。外部からの延焼防止のために、外壁や屋根等に設置する。重要文化財の神社や仏閣等に使われる。	2016/3/16

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/kaitei>)に掲載された日付です。